

速報

平成21年度 第1回郡市医師会長協議会

平成21年6月20日（土）午後4時から、札幌グランドホテルにおいて、今年度第1回郡市医師会長協議会を開催した。

長瀬会長の挨拶のあと、「1. 平成21年度社会保険医療担当者指導実施計画について」「2. 緊急臨時的医師派遣事業について」「3. 新型インフルエンザについて」をそれぞれ、三宅副会長、宮本副会長、三戸常任理事が説明、「4. その他」で直江常任理事から『骨太の方針2009原案に明記の「基本方針2006を踏まえ社会保障費を削減する」ことは断じて容認できない』として撤回を求める決議を緊急提案、全会一致採択して終了した（早速、20日中に内閣総理大臣はじめ関係方面へ発送）。

引き続き、北海道医師連盟郡市代表者会、同連盟主催による講演会「日本の医療を考える」が開催されたが、詳細は、追って、道医連ニュース版などで報告される予定。

— 総 務 部 —

決 議

国は長年にわたり社会保障費抑制策を掲げ、特に「経済財政改革の基本方針（骨太方針2006）」以後、社会保障費の自然増2,200億円の削減を毎年続けてきた。このため国民は必要な医療を受けることができず、地域医療は完全に崩壊した。

この事態に至ってもなお「骨太の方針2009」原案には、“基本方針2006を踏まえ社会保障費を削減する”ことが明記された。

これは医療崩壊を放置することを意味しており、我々はこれを断じて容認できない。

政府は来年度予算のシーリングで、社会保障費削減を明確に撤回し、必要な社会保障費を措置することを強く要求する。

平成21年6月20日

北海道医師会郡市医師会長協議会